

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

堺市立浅香山小学校
校長 中村 義朗

<p>令和元年度 重点目標 学校教育目標 「確かな学力と健康な心身を育み、自他ともに大切に子ども」をめざして、</p> <p>①「学力の向上」子どもの思考力・判断力・表現力をはぐくみ、主体的・自律的に学ぶ力の育成を図る。</p> <p>②「7つのやくそく」を守り、子どもの生活習慣の実態や体力・運動能力の現状把握、体力向上、健康増進に取り組む。</p> <p>③組織的で一貫性のある指導と一人ひとりに効力感や自己肯定感を味わわせる指導に取り組む。</p>	<p>④人権尊重の精神について理解を深めるとともに、態度や行動など豊かな人権感覚を養う。</p> <p>⑤子ども一人ひとりに対する丁寧な実態把握のもと、必要に応じた適切な指導・支援の充実と学力の獲得・自立の促進を図る。</p> <p>⑥信頼される学校づくりをめざして、学校の取り組みや教育活動の様子を積極的に情報発信する。</p>
---	---

<p>「確かな学び」の現状</p> <p>昨年度の堺市「子どもがのびる」学びの診断の結果より、国語・算数科ともに4・5年生が全国期待値を上回っている。また、同一集団で見ると全学年でやや低下している。本年度は算数科を通して、児童が主体的・対話的学びを確立するため、学びの過程を大切に浅小スタンダードの定着と思考・判断・表現力の向上を進めていく。本校アンケートでは「学習がわかりますか」で肯定的な回答した児童の割合は89%、「学習は楽しいですか」は82%であった。一方で、7%、12%と否定的な回答をした児童もいるため、特にこの児童を中心に個に応じた支援体制の見直しや授業改善に努める。教師と子ども、子ども相互間で、「ほめる」「認める」「あたたかな言葉がけ」などにより、自尊感情を高めるとともに、秩序と活気ある、学びの場をつくる。</p>	<p>「豊かな心・健やかな体」の現状</p> <p>休み時間には、運動場で元気に遊ぶ児童を多く見かける。また、バスケットボールをする高学年の児童も多い。「鬼ごっこ」遊びは低学年から高学年まで、みんな遊びなどで取り入れて行っているクラスが多い。スポーツテストの結果より、昨年同様に男女とも長座体前屈と立ち幅跳びが堺市平均を上回っている。しかし、男女ともに「反復横跳び」、「20mシャトルラン」が堺市平均を下回っている学年が多い。特に「ソフトボール投げ」は、やや改善傾向であるが、まだ平均に達していない学年もある。本校の課題である「瞬発力」「持久力」「投力」の向上に向けて、準備体操の工夫を含めた授業改善や全学年での体力づくり活動の改善を図る。</p>
--	---

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～12月)	達成状況 (年度末)	
								自己評価	学校関係者評価
確かな学び	学習習慣	学習習慣や学習規律を確立させる。	①●学習規律やハンドサイン、聞き方の「あいうえお」、ノートの書き方や発表の仕方のモデルの提示を徹底する。	「自分の考えをハンドサインや反応の「あいうえお」で伝えたり、発表したりできている」で肯定評価が80%以上	児童・保護者 教職員 アンケート	年度末			
			②家庭学習の定着をめざし、学習習慣の確立する。	「家での勉強や宿題をしていますか」で肯定評価が90%以上「家での学習が習慣化されていますか」で肯定評価が70%以上	児童・保護者 教職員 アンケート	年度末			
	授業改善	思考力・判断力・表現力の育成に努め、確かな学力を育む。	③●全教員が公開研究授業を行い、授業力の向上につなげる。	教職員全員が公開研究授業を実施しているか。	実態報告	毎学期			
			④個に応じた指導や、ICTや具体物などの有効活用により、わかる授業の工夫を図る。	タブレットについては、一日一度は必ず利用し、デジタル教材も使用する。	児童・保護者 教職員 アンケート	年度末			
豊かな心・健やかな体	心の教育の充実	自尊感情・自己肯定感を高め、自他ともに大切に子どもを育て、「学校生活を楽しい」と感じさせる。	⑥●堺市「7つのやくそく」と浅小「3つの大切に(自分・人・物)の徹底を図り、静かな教育環境をつくる。	「7つのやくそく」と「3つの大切に」の徹底で肯定評価が90%以上。	アンケート 実態報告	年度末			
			⑦学級・学年活動と縦割り活動などによる仲間づくりを通して、社会生活のルールや互いを認め大切にする態度を養う。	「学級・学年・縦割り活動などの仲間づくりを通して、社会生活のルールや互いを認め大切にする態度を養っている」で肯定評価90%以上。	児童・保護者 教職員 アンケート	年度末			
			⑧特別の教科道徳科の年間計画に基づき、研修を深めるとともに計画的・継続的に道徳教育を推進させる。	教科書「きみがいちばんひかるとき」を効果的、計画的にすすめて、各学年で道徳科の公開授業を実施。	実態報告	毎学期			
	体力向上	運動に親しむ環境を整え、体力を向上させる。	⑨スポーツテストの結果をもとにして、全校かけ足、縦割りなわとび集会、授業コンクールアップをねらう活動を取り入れるなど、児童一人ひとりの体力向上を図る。	「全校かけ足、縦割りなわとび集会などががんばった」で肯定評価90%以上。	アンケート	年度末			
信頼される学校	地域協働	保護者や地域に開かれた信頼される学校づくりを推進する。	⑩●校報・ホームページ、メール等を通して、教育方針や教育活動等の学校の情報を積極的に発信し、理解を深める。	・毎月の校報の発行 ・保護者の求める情報や児童の様子をHPに掲載と必要に応じてのメール配信	保護者・教員 アンケート 実施報告	毎月			
			⑪連合自治会主催のまつりや防災訓練など、地域の活動に積極的に参加しようとする。	地域主催の行事に積極的に参加しようとしている。	教員 アンケート	年度末			

校長より (年度末)	学校関係者評価者から (年度末)
------------	------------------